

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	「支え合いの大切さ」を広める標語等活用 【事業費予算 500 千円】
事業目的・概要	「支え合いの大切さ」を広める標語を用いたチラシ等による啓発を実施し、標語をこれまで以上に拡散することで、能動的に他者の困りごとに気づき行動できる人を増やす。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>①標語を用いたポスター・チラシによる啓発活動</p> <p>1事業対象者 未来の地域の支え手となりうる30歳代～40歳代の子育て世代を中心とした全世代</p> <p>2啓発方法 最優秀賞作品「支え合い 勇気を出して 声かけて」を使用したポスター・チラシを作成し、配布・掲示することで啓発を行う</p> <p>3配布・掲示先 <ポスター> 小・中学校、商業施設、社会福祉施設、医療機関、郵便局、地域団体、行政施設 約840部配布 <チラシ> 小・中学校、行政施設 約13,200部配布</p> <p>②「支え合いの大切さ」を広める標語使用基準の周知 令和2年度に作成した「支え合いの大切さ」を広める標語の使用基準について、自治会・地域コミュニティ協議会宛てに積極的な活用の依頼を行うことで、「支え合いの大切さ」の周知につながるよう努めた。 標語使用届提出状況：6件（自治会広報紙への使用 など）</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【地域課題の抽出方法とその解決策】 平成30年1月の大雪を機に、地域での支え合いの大切さが再認識され、普段からこのことを意識してもらうきっかけとして標語を募集した。より多くの人に「支え合いの大切さ」を意識してもらうように、この標語を用いてポスター・チラシによる啓発活動や、標語の使用基準を定め誰でも標語を用いることができる環境を整えた。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・チラシは「普段のあいさつやちょっとした声かけも支え合いになる」という意図を盛り込んだデザインにできた。 ・チラシを小・中学校の全児童に配布することで、親子で改めて「支え合い」について考えるきっかけとなった。 ・学校のみならず、商業施設や医療機関など多くの世代が利用する施設にポスターの掲示依頼をすることで、子育て世代以外の年代にも「支え合いの大切さ」を啓発することにつながった。 ・地域団体等に標語を活用いただくことで、より広く「支え合いの大切さ」を広めることができた。 <p>【課題】 標語の募集や啓発活動などのきっかけづくりをしているが、能動的に他者の困りごとに気づき行動できる人が増えたかどうかは測定が難しい。しかし、「支え合いの大切さ」を広める活動は継続して行う必要がある。</p>
備考	